

科目名 Course Name	子育て支援プロジェクト Child-rearing project			ナンバリング No.	K3-016		
年次	2 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	岡泉志のぶ・田村田・久保田隆範・栗原多恵						
連絡先(質問等)	各研究室、またはメールで対応する。						
必修/選択	選択(こどもフィールドのみ受講可能)						
関連 DP	DP2、DP3、DP4						
授業の概要と 到達目標	<p>教育・保育施設においては、地域における子どもや子育て支援の中核的な役割を担うことが期待される。保育者としてその意義を果たすことを目指し、地域連携事業としての子育て支援活動「キッズプラザさのたん」と「さの子育て応援広場」の活動を通して、人と地域と共に成長できる保育者を育てる。</p> <p>授業の到達目標は、以下の 4 つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 子どもの最善の利益を考慮した子育て支援のあり方について考察できるようにする。</li> <li>② 子育て支援活動を通して保護者のニーズを知り、支援者の役割について考察、実践できるようにする。</li> <li>③ コミュニケーション能力を高め、現場で適応できる保育者としての資質や技術の獲得ができるようにする。</li> <li>④ 子どもや保護者の心を捉え、子育て支援での現場において、子どもや保護者の気持ちに寄り添う支援ができるようにする。</li> </ol>						
授業の方法	子育て支援事業「キッズプラザさのたん」と「さの子育て応援広場」の活動を通して、保育者に必要な知識と技術の獲得を目指す。授業とスケジュールは、キッズプラザが 20 週の実施(各グループ)とさの子育て応援広場の企画、運営、実施で 1 年間を通して行う。授業の内容は、キッズプラザが各担当グループの内容となり、さの子育て応援広場については各役割での授業内容を示す。ディスカッション、プレゼンテーション等も取り入れたアクティヴ・ラーニングの授業形態で総合的な実践力の習得を図る。						
学習成果	L01	計画立案、各役割とのコミュニケーション能力、チームワークとしての役割を果たすことができる。また、スタッフワークとしての業務や子どもの支援について実践的に行うことができる。					
	L02						
	L03	保育者として必要な知識や技術を総合的に獲得し、子どもや保護者に寄り添った支援の提供と自己表現の欲求を実現することができる。また、地域における子どもや子育て支援の必要性と役割を担うことができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	各授業にて個人またはグループにて課題を提出し、授業内、またはオフィスアワーにて即時フィードバックする。レポート提出(第 11、30 回目)とする。						
教科書/ 参考図書	教科書は使用せず、適宜、資料と楽譜の配布をする。						
履修上の留意点 やルール等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業は積極的に参加し、チームワークとして個々の役割に取り組むこと。</li> <li>● 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</li> </ul>						
担当教員の実務 経験	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 岡泉: 実務経験(職種: ピアノ講師 職歴: 通算 20 年) 子どもとの関わりや多様な指導経験を、音楽・舞台指導の際に活かす。</li> <li>● 田村: 実務経験(職種: 美術教室 職歴: 通算 26 年) 子どもとの関わりや多様な指導経験を、舞台背景や制作、広報デザインの指導の際に活かす。</li> <li>● 久保田 隆範 実務経験(職種: プレイリーダー・研修講師 職歴: 通算 6 年) 実践現場での多様な経験を、教材研究や運営方法の指導の際に活かす。</li> <li>● 栗原: 実務経験(職種: 幼稚園教諭 職歴: 9 年) 保育現場での多様な経験を、指導案悪性等の事前指導の際に活かす。</li> </ul>						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業には積極的に参加し、各役割業務に取り組む姿勢を評価する。	30			
レポート／作品	キッズプラザでの実践成果(10点)、子育て応援広場での活動内容(10点)を報告書としてまとめ、期限内に提出されることで評価する。	20			
発表	自ら選曲した楽曲を他者に紹介し、魅力について発表する。			50	
小テスト					
試験					
その他					
合 計		50		50	

回数	授業計画	
1	授業内容	授業概要、学習成果、成績評価、授業での諸注意
	事前・事後学習	事後学習として、シラバスの読み込みと他大学の子育て支援活動について調べてまとめる。
2	授業内容	子育て支援の意義①ー日本における子育ての現状ー
	事前・事後学習	日本における子育ての現状について、多角的な視点(ワンオペ育児、父親の育児参加など)から調べてまとめる。
3	授業内容	子育て支援の意義②ー子育て支援の内容と方法ー
	事前・事後学習	各自治体や民間団体がやっている子育て支援の事例を調べてまとめる。
4	授業内容	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の事前指導Ⅰ 本学における子育て支援活動の概要と特徴
	事前・事後学習	事後学習として、実施に向けた活動内容の全体構想を練り、まとめる。
5	授業内容	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の事前指導Ⅱ 実例を通じた環境構成と実践内容
	事前・事後学習	事後学習として、環境的視点から安全上の配慮点を整理しまとめる。
6	授業内容	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の活動内容の立案Ⅰ 指導案の作成
	事前・事後学習	事後学習として、授業内作成の指導案を再度チェックし修正を加える。
7	授業内容	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の活動内容の立案Ⅱ 担当教員からの指導と実践法
	事前・事後学習	事後学習として、教員からの指導を元に改善点を整理し、指導案に反映させる。
8	授業内容	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の実践Ⅰ 子どもの発達段階に応じた関わりと支援
	事前・事後学習	事後学習として、自身の関わりや声かけの仕方が発達段階に適していたかを省察し記録にまとめる。
9	授業内容	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の実践Ⅱ 保護者への支援とコミュニケーション
	事前・事後学習	事後学習として、実践の中で保護者との関わりがどうであったかを省察し記録にまとめる。
10	授業内容	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の実践Ⅲ 親子で楽しめる遊びや表現活動の実践
	事前・事後学習	事後学習として、実践の中で行った活動が親子で楽しめるものになっていたかを省察し記録にまとめる。
11	授業内容	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の事後指導 課題と問題解決に向けて(報告書:10点配点)
	事前・事後学習	事後指導を踏まえた上で、本実践を通しての学びや改善点等を報告書にまとめる。

12	授業内容	地域連携事業「さの子育て応援広場」の事前指導Ⅰ 本学におけるさの子育て応援広場の概要と特徴
	事前・事後学習	事前学習として、自身の特技や舞台に活かそうな力を整理しまとめる。事後学習では希望の担当についても考えておく。
13	授業内容	地域連携事業「さの子育て応援広場」の事前指導Ⅱ これまでの事例を通した舞台内容 ※以下、各役割の授業内容
	事前・事後学習	事後学習として、事例の中から自分達の実施に向けて活かしたい点を整理しまとめる。
14	授業内容	会場スタッフ(受付、駐車場を含む):受付、会場、駐車場の業務企画、運営Ⅰ
	事前・事後学習	運営全般における安全上の注意点の整理しまとめる。
15	授業内容	会場スタッフ(受付、駐車場を含む):受付、会場、駐車場の業務企画、運営Ⅱ
	事前・事後学習	当日の運営を想定したシミュレーションを行い、気づいた点を整理しまとめる。
16	授業内容	舞台スタッフ:台本の構成と作成、修正、完成
	事前・事後学習	台本における方向性(伝えたいメッセージやコンセプト)を整理する。
17	授業内容	舞台スタッフ:リハーサルと本番のタイムテーブル作成(照明・音響スタッフ含む)
	事前・事後学習	タイムテーブルを基にイレギュラー対応についても想定し、気づきをまとめる。
18	授業内容	舞台出演:発声法、筋力トレーニング、舞台の基礎知識
	事前・事後学習	正しい発声法を学び、習慣化する。舞台の基礎知識を覚えてくる。
19	授業内容	舞台出演:台本の読解と役作り、立ち位置と動き
	事前・事後学習	役作りのポイントについて調べる。立ち位置、動き等のレイアウトを考えて練習をする。
20	授業内容	舞台出演:完成度を上げる(構成力、表現力、演出力、アドリブ)
	事前・事後学習	「伝わる表現」とはなにかを考え、演出の向上を目指して練習し完成度を上げる。
21	授業内容	大道具・小道具:舞台装置、背景、大道具、小道具等のデザイン立案
	事前・事後学習	事前学習として、台本を基に必要となる大道具や素材等について考えてまとめる。
22	授業内容	大道具・小道具:小道具、照明背景等の制作
	事前・事後学習	事前学習として、各素材の検討と準備をする。
23	授業内容	大道具・小道具:舞台装置(会館用)との調整と大道具制作
	事前・事後学習	事後学習として、実際の舞台での配置や入れ替えにかかる時間などを整理しまとめる。
24	授業内容	衣装:衣装のリメイクと素材、デザイン立案
	事前・事後学習	事前学習として、台本を基に役者の衣装の素材やデザインについてまとめる。
25	授業内容	衣装:役割分担と予算作成、役者との採寸と打ち合わせ
	事前・事後学習	事後学習として、素材の選定との役割分担の衣装作成計画をする。
26	授業内容	衣装:衣装制作と装飾、衣装合わせ
	事前・事後学習	事後学習として、実際に制作した衣装と装飾を検証し、完成させる。
27	授業内容	音響・音楽:劇中の楽曲・音楽(BGM)・SE(効果音)の効果的な音響プラン ※電子ピアノの効果
	事前・事後学習	事前学習として、台本を基に劇中音楽の候補を選定する。
28	授業内容	音響・音楽;音響プランと仕込み(会館用)
	事前・事後学習	事前学習として、使用楽曲の演奏練習をする。
29	授業内容	音響・音楽:舞台に合わせた音響効果と音楽の完成
	事前・事後学習	事後学習として、音響効果の各タイミング等を再度確認し、修正をする。
30	授業内容	地域連携事業「さの子育て応援広場」の舞台成果発表 ※学内にて発表(報告書:10点配点)
	事前・事後学習	本実践を通しての学びや改善点等を報告書にまとめる。